

対ニジェール共和国 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	サヘル地域の平和と安定に資する持続的な開発の促進
---------------	--------------------------

重点分野 1 (中目標)	教育へのアクセス・質の向上
-----------------	---------------

開発課題 1-1 (小目標) 教育 教育改善支援 プログラム	【現状と課題】 ニジェールでは、教育普及及び人材育成の遅れがあらゆる開発の阻害要因となっている。政府は「教育・研修セクタープログラム (PSEF) (2014~2024年)」を策定し、小学校就学率の向上、地域間格差や男女間の格差の是正、地方分権化も踏まえた住民参加による学校運営の体制強化等に取り組んでいるが、小学校就学率は66% (2019年、世界銀行 (WB))、中学校就学率は24% (2017年、WB) に留まっている。また、人口増加率の安定にも資する女子就学率の向上が課題となっている。	【開発課題への対応方針】 「平和と成長のための学びの戦略」に基づき、経済社会開発における教育、特に女子就学率の向上の重要性にも鑑み、初等・中等教育へのアクセス改善、教育内容・マネジメントの質向上に取り組む。支援にあたっては、これまで重点的に支援を実施してきた初等教育分野に加え、中等教育分野及び女子・女性を含む脆弱層にも配慮することとする。												
					実施期間									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考	
		初等教育及び中等教育の充実、ニジェールの将来を担う人材の育成のため、複数の協カスキームを効果的に組み合わせ、「アクセスの向上」、「質の向上」、「マネジメントの改善」に取り組む。	ニアメ市中学校整備計画準備調査	協準	■	■								
			みんなの学校：コミュニティ協働による基礎教育の質及び男女間公平性の改善プロジェクト	技プロ	■	■	■	■			7.80	4,5,10		
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ) 「修士課程及びインターンシップ」プログラム	国別研修	■	■	■							
			SDGsグローバルリーダー	国別研修	■	■	■							
			アフリカ諸国向け職業訓練フェーズ5	第三国研修	■	■	■							
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■						0.10	4	
			教育分野の課題別研修	課題別研修他	■	■								

重点分野2 (中目標)	持続可能な農村開発を通じた食料安全保障の強化												
開発課題2-1 (小目標) 農業・農村開発	【現状と課題】 ニジェールでは、農業がGDPの36%（2021年、WB）を占め、農業従事者は就労人口の7割（2019年、WB）を超える。しかし、天水に依存する農業形態、土地の劣化による生産量の減少、近年の食料価格高騰の影響等により、ニジェールの農業生産及び食料事情は不安定である。また、安全な水にアクセスできる住民は47%（2020年、WB）に留まっている。					【開発課題への対応方針】 ニジェール政府が推進する地方自治体による農村開発及び食料事情・栄養状態改善を後押しすべく、限られた資源を最大限に活用するような農業生産の推進、農民の能力強化、食料事情・栄養状態の改善に資する協力を実施する。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	持続的な農村開発 推進プログラム	我が国の知見を活かし、「安全な水へのアクセス向上」、「貴重な水資源の活用を通じた農民の能力強化」、「農業生産性向上と普及」を通じ、食料安全保障の確立に向けた支援を実施しつつ、栄養状態改善にも寄与する。	灌漑稲作振興のための農業水利整備公社機能強化計画	無償	2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	11.94	1,2	
			農業普及システム改善プロジェクト	技プロ							5.50	2	
			農業・農村開発分野の課題別研修	課題別研修他									
			食糧援助（令和2年度）	食糧援助							4.00	2	
			食料安全保障のための農学ネットワーク（Agri-Net）	国別研修									
			食糧援助（令和3年度）	食糧援助							4.00	2	
ニジェール国ニアメ首都圏における有機性ゴミによる緑化活動（草の根協力支援型）			草の根技協										

重点分野3 (中目標)	サヘル地域の平和と安定の促進													
開発課題3-1 (小目標) 平和と安定・ガバナンス	【現状と課題】 ニジェールが抱える貧困や脆弱性は、社会経済開発上の課題に留まらず、同国の平和と安定にも影響を与えうる懸念材料となっている。国境を越えた武装テロ組織からの脅威により、サヘル情勢が不安定化する中、ニジェールを含むサヘル地域全体の強靱性の向上は喫緊の課題である。					【開発課題への対応方針】 国際機関とも連携しつつ、近隣国からの難民や移民、国内避難民及び帰還民の受け入れによって負担が増えているホストコミュニティへの支援、中央及び地方レベルの行政・司法・治安能力強化等の制度構築・ガバナンス強化に資する協力を実施する。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	治安・ガバナンス 改善プログラム	国際機関とも連携し、近隣国からの難民等の受け入れによって負担が増えているホストコミュニティへの支援、中央及び地方レベルの行政・司法・治安能力強化等の制度構築・ガバナンス強化に資する協力を実施する。	仏語圏アフリカ刑事司法	国別研修	2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度				
			ガバナンス分野の課題別研修	課題別研修他										
			G5サヘル諸国の平和と安定に係る情報収集・確認調査	基礎情報調査										
			新型コロナウイルス流行下における国境管理に係る情報収集・確認調査	基礎情報調査										
経済社会開発計画			無償								3.00	16	治安維持能力強化	
その他														
その他 (個別重点課題)	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	その他個別の案件		経済社会開発計画	無償							1.00	3	保健・医療体制整備	
			アフリカのきれいな街のための中核人材育成	国別研修										

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「個別研修」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術) (＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「――」」(＝実施期間)、「破線「----」」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf